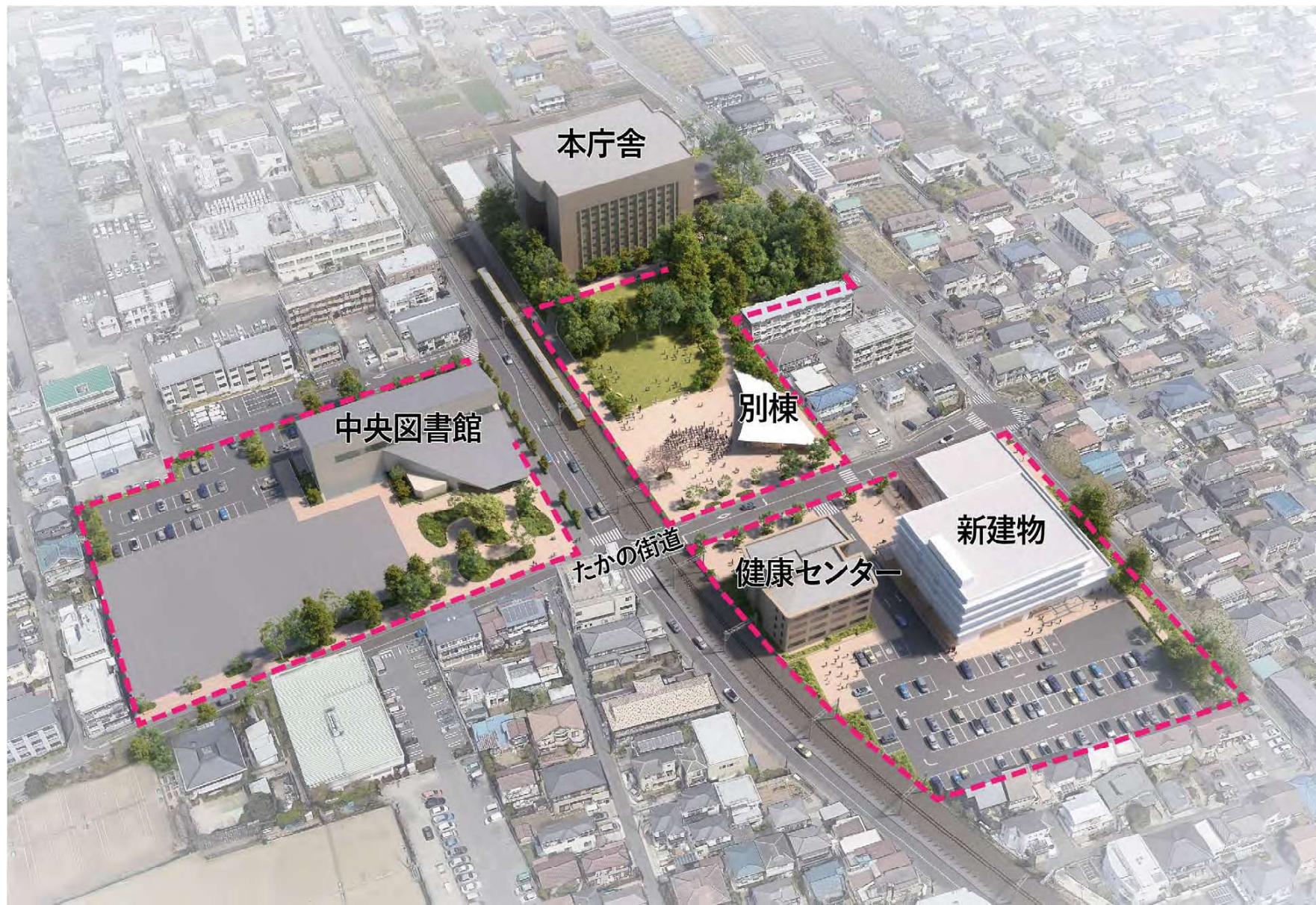




**まち・人・緑をつなぐ
開かれた活動拠点**

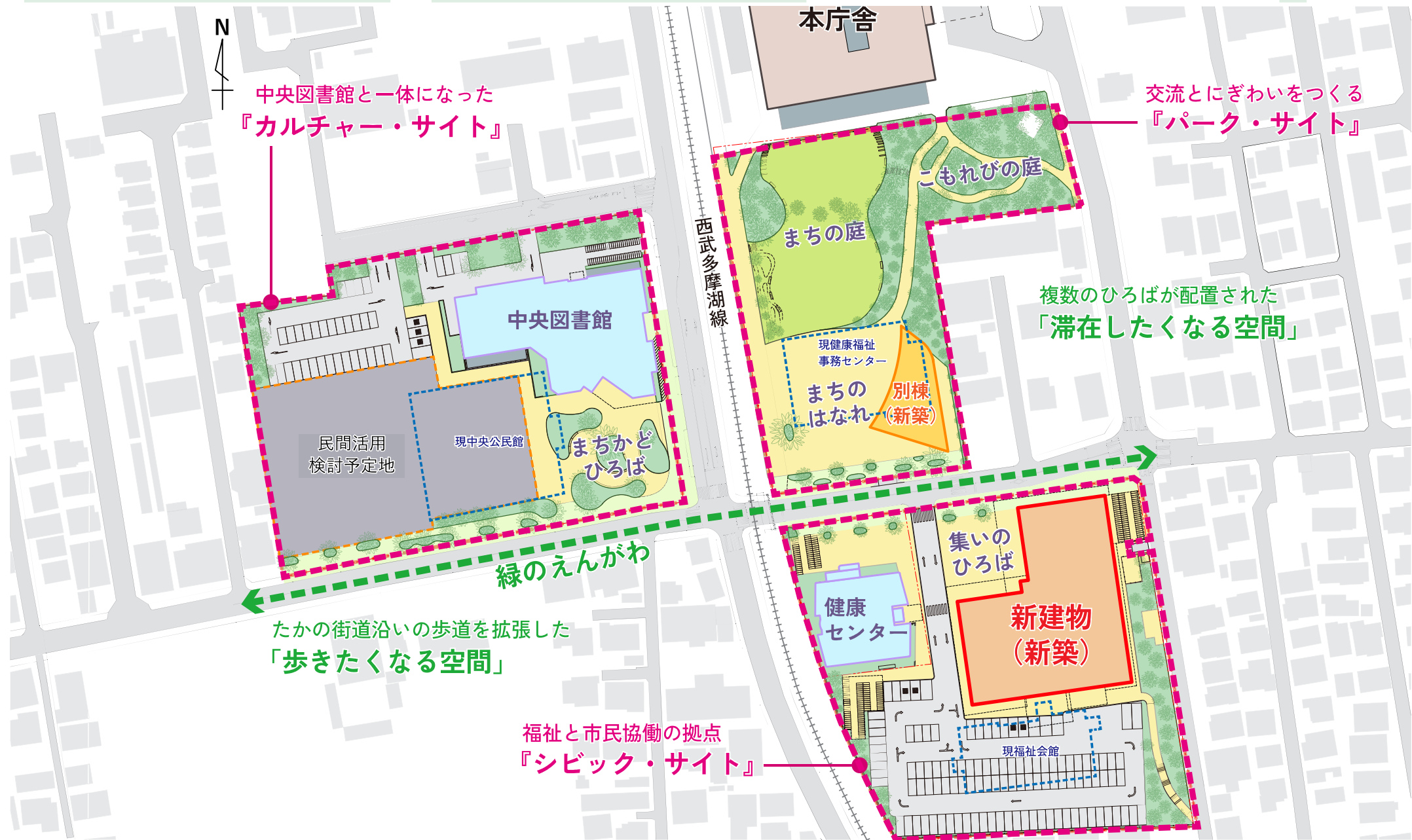


点在している行政機能等をエリアとして一体的に捉えなおし、
憩いの場、市民同士の交流をつくりだすことを目指します。

行政・防災・交流とにぎわいの拠点

全体配置計画

- ・エリア内に複数のひろばを配置し「滞在したくなる空間」、たかの街道沿いの歩道を拡げ「歩きたくなる空間」を創出します。
- ・新建物を福社会館前市民広場に建築し、健康福祉事務センター跡地のひろばを健康センター、本庁舎、中央図書館をつなぐ場とします。



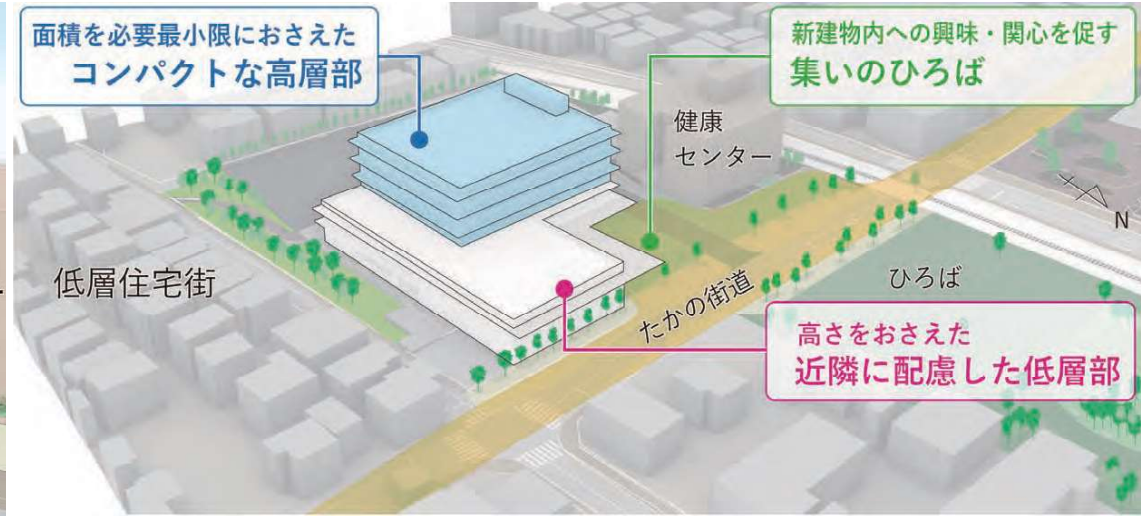
※「シビック・サイト」について、タクシー乗車場所の設置や、駐輪場及び駐車場の配置及び台数を検討中。

※本資料の内容はすべて検討中のものであり、今後変更される可能性があります。 p.3/15

新建物配置計画 (シビック・サイト)



新建物内への興味・関心を促す、ひろばに開いたL字配置



隣接する住宅街に配慮して、高層部をセットバックさせたボリューム配置

新建物外観イメージ

全体外観イメージ



木調アルミルーバーによる屋敷森をイメージした景観と調和する外観

底下空間イメージ



ガラス+木調アルミルーバーが作り出す、こもれびの底下空間

新建物計画

フロア構成

- ・全ての利用者にかかれた1, 2階の生涯学習・集会室機能
- ・プライバシーに配慮して4, 5階に集約した福祉事務機能

		屋外機器置場	RF	
		福祉事務機能	5F	
		福祉事務機能	4F	
	屋外機器置場 (予定)	行政機能	3F	
集いの ひろば	生涯学習・集会室機能、フリースペース		2F	
	生涯学習・集会室機能、フリースペース、キッズスペース		1F	車寄せ

ユニバーサルデザイン・バリアフリー

(1) トイレ

- ・障がい者等に必要の個別機能トイレを分散配置する「バリアフリートイレ」(高齢者障害者等用便房)を設置するとともに、異性の親子なども使用できる、ジェンダーフリーにも配慮した計画とします。
- ・多くの市民の利用が想定される1,2階の男女トイレには、ベビーチェアやおむつ替えシートを備えます。

(2) エレベーター

- ・車椅子利用者や市民活動に要する荷物の移動が想定されることから、大きめのサイズを考慮する必要があるため、13人乗り2台の設置で検討を進めます。また、救急搬送等が可能なトランク付きの仕様を想定します。

防災機能

- ・本庁舎が被災した場合を想定し、耐震安全性の確保、マンホールトイレ、井戸、非常用発電機(72時間連続稼働)など、災害対策本部の代替施設としての機能を備えます。

環境配慮

- ・屋根や外壁の断熱化、庇による日射遮蔽、高効率な省エネルギー設備を導入するなど、環境に配慮した機能を備えます。
- ・建物の省エネ性能については、ZEB Ready(消費エネルギー50%削減)を目指します。

新建物計画

内観イメージ①（エントランス）

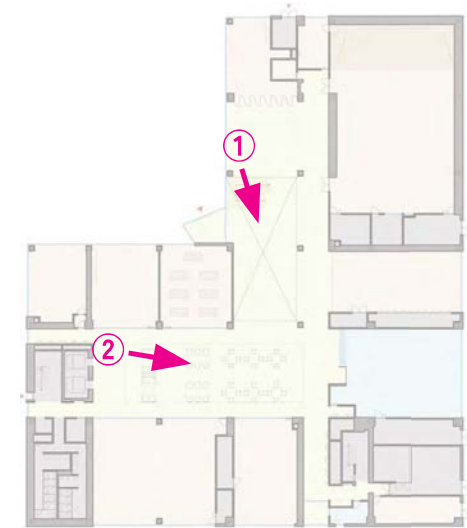


利用者を迎える2層吹抜けの開放的なエントランスロビー

内観イメージ②（フリースペース）



多世代交流を促進する憩いの場となる1,2階のフリースペース



内観イメージの位置と向き

新建物計画

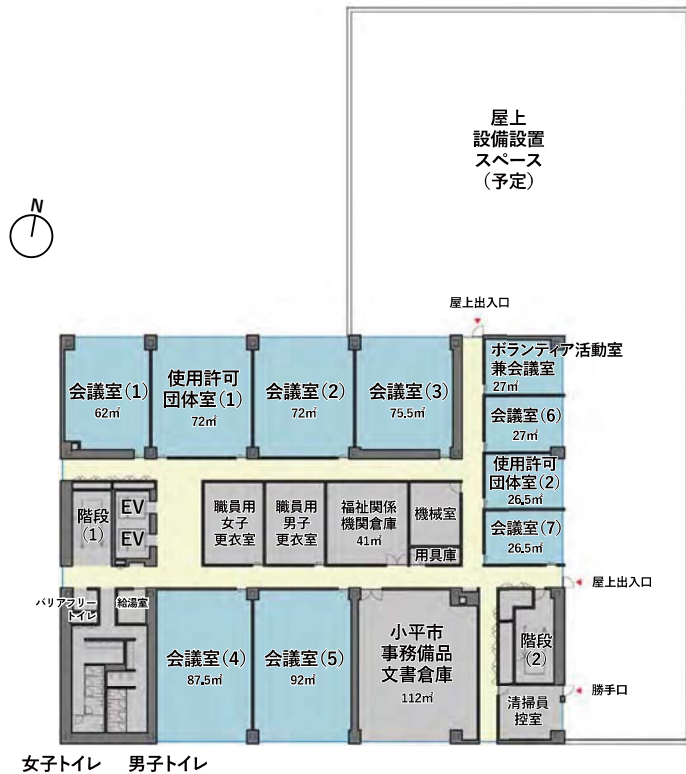
福祉事務機能・行政機能の配置 (3-5F)

- 福祉事務機能の利用者のプライバシー確保や、相談しやすい、静かで落ち着いた環境の配慮をします。
- 福祉事務機能の利用者に対しては、複数のエレベーターなど円滑な移動に配慮した設備の設置や、分かりやすいサイン計画などにより、移動の負担の軽減に努めます。
- 相談先を迷う方や複合的な相談に対応するため、5階に福祉総合窓口を配置します。
- 3階は新建物内の行政機能の会議室や倉庫を設置します。

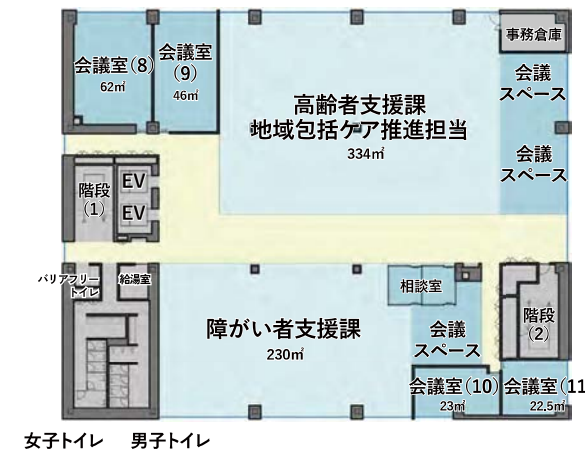
内観イメージ



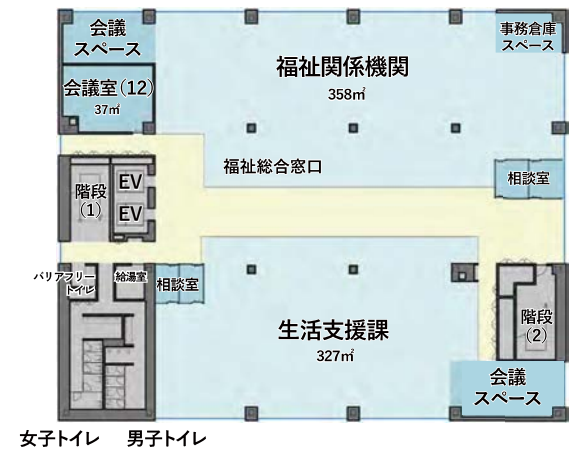
木を基調とした、あたたかみのある福祉窓口カウンター



3F 延床面積：1175㎡



4F 延床面積：1175㎡



5F 延床面積：1175㎡